

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- ・各精神保健圏域ごとに、精神科救急を中心とした関係機関の連携体制が構築されている。
- ・各圏域の中核的な精神科病院において地域移行を積極的に取り組んでいる。
- ・精神保健関係団体と連携し、地域生活継続に向けた相談支援体制の強化に取り組んでいる。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
県及び圏域ごとの保健・医療・福祉関係者の協議の場が設置されていないため、具体的な取り組みが進展しない。	各保健所担当者と各圏域の協議の場の設置に向けた打ち合わせを行うとともに、必要な予算の確保に向け調整を行った。	令和2年度中に県内4圏域で協議の場を設置する方向で準備を進めている。
地域移行に関わる事業所、専門職の不足	相談支援事業所や障がい福祉事業所職員を対象とした精神障害者への支援技法に関する研修会を開催。	基礎編と応用編の2種類の研修会を設定し、県内4会場で開催。
精神障がい者に対する正しい知識に普及が進まず、地域における地域移行に対する理解が不足	各圏域ごとに、精神障がい者家族や支援者を対象とした講演会等を開催するとともに、精神障がい者の作品展を各地で開催。	各地の研修会や作品展に多くの方が参加した。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①保健・医療・福祉関係者の協議の場を設置した圏域数	0圏域	4圏域 (令和2年度末)	令和2年度中に達成見込み
②相談支援専門員等への支援技法に関する研修会開催数	4回	4回	令和元年度は年4回開催見込み
③県が実施又は支援する精神疾患に関する研修会の参加者数	929人	950人	前年度との比較で各研修会等の参加者数は増加傾向で推移